Trifun

Un Photoalbum Series

取扱説明書

DPF-A8WM10シリーズ

エレコム デジタルフォトフレーム "DPF-A8WM10"シリーズを
お買い上げいただき誠にありがとうございます。

本書では "DPF-A8WM10" シリーズの使いかたや正しく安全に
ご使用いただくための注意事項などについて記載しています。
ご使用前に、必ずお読みください。
また、読み終わったあとは大切に保管しておいてください。

ELECOM

INDEX

1 はじめに 2

パッケージ内容を確認する 2
正しく安全にご使用いいただくために 3
各部のなまえ.............................. 9

2 準備.............................. 12

リモコンについて.............................. 12
充電する 14
電源をオン / オフする 15

3 接続する 16

SD メモリーカードを挿入する 16
USB デバイスと接続する 17
パソコンと接続する 18
テレビと接続する.............................. 19
ヘッドホンを接続する 19
ファイルをコピーする 20

4 使いかた 21

お気に入りを見る.............................. 21
エクスプローラーを使う 22
写真を見る 23
ムービーを見る.............................. 25
ミュージックを聞く 27
電子ブックを読む.............................. 29
各機能を設定する（セットアップ）.............................. 31

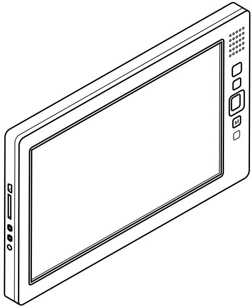
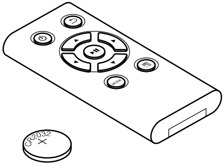
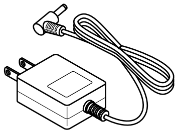
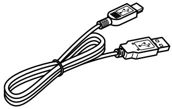
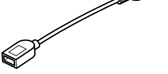
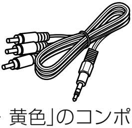
5 付録.............................. 35

困ったときは.............................. 35
ユーザーサポートについて 38
製品仕様 39

1 はじめに

パッケージ内容を確認する

ご使用になる前に、本体と付属品が揃っているか、破損していないかを確認してください。

本体	リモコン、動作確認用電池
	 ※動作確認用電池はリモコンにセットされています。(⇒ 12 ページ)
AC アダプター	USB ケーブル(パソコン接続用)
	
USB ホストケーブル (USB デバイス接続用)	コンポーネントケーブル (テレビ接続用)
	 ※「赤・白・黄色」のコンポジットビデオ端子では使用できません。

正しく安全にご使用いただくために

■ 次のことを必ずお守りください

本製品は、安全性に配慮された設定になっていますが、間違った使いかたをすると、感電、火災などの原因になり、けがや事故を起こす恐れがあります。
次のことを必ずお守りください。

① 正しく安全にご使用いただくために、本書の注意事項をお守りください

⇒ 4 ～ 7 ページの内容をよくお読みの上、必ずお守りください。

② 定期的に本製品を確認してください

1 年に 1 回は本製品を確認し、故障していないか、充電時に AC アダプターとコンセントが正しく接続されているか、端子やコネクターにちりやほこりがたまっていないかなどを確認してください。

③ 故障したまま使用しないでください

本体やリモコンが壊れた、動作がおかしいなど、故障かな？と思ったときは、すぐに使用を中止して、本製品の電源を切り、AC アダプターをコンセントから抜いてください。そのあとで、「困ったときは」(⇒ 35 ページ)に記載されている対処方法を試してください。
それでも異常が解決しない場合は、お買い上げの販売店またはエレコム総合インフォメーションセンターまでご連絡ください。

④ 万一、異常が起こった場合

本体から煙やにおい、変な音が出た場合は、速やかに次のことを行ってください。

1. 本製品の電源をオフにしてください。(⇒ 15 ページ)
2. AC アダプターをコンセントから抜いてください。(⇒ 14 ページ)
3. ご購入店またはエレコム総合インフォメーションセンターまでご連絡ください。(⇒ 37 ページ)

■ 絵表示の意味

⚠ 危険

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電による死亡や大けがなど人身事故が生じる高度な危険があります。

⚠ 警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などによる死亡や大けがなど人身事故の原因になります。

⚠ 注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり、他の機器に損害を与えたりすることがあります。

「してはいけない」ことを示します。

「しなければならないこと」を示します。

ご注意

「注意していただきたいこと」を記載しています。

メモ

「お願いしたいこと」や「参考にしていただきたいこと」を記載しています。

■ 安全上のご注意

⚠ 危険

アダプター、接続ケーブルは当社指定のものを使用し、当社指定の充電条件を守ってください。
その他のアダプターまたは条件で充電すると、内蔵充電池が発熱、液もれ、破裂する恐れがあります。

液もれした場合は使用しないでください。
本体の内蔵充電池やリモコン用電池から液もれがあった場合は、すぐに使用を中止してください。発熱、破裂する恐れがあります。

分解や改造、修理などをご自分でしないでください。
火災や感電、故障の原因になります。

本製品に水や金属片などの異物を入れないでください。
そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。

本製品が発熱している、煙が出ている、異臭がしているなどの異常があるときは、使用を中止してください。
そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。

本製品から漏れた液が身体や衣服についたら、きれいな水で洗い流してください。
内蔵の充電池の中の液が皮膚や衣服につくと、皮膚に障害をおこす原因になります。

⚠ 危険

内蔵の充電池の中の液が目に入った場合は、こすらずすぐに綺麗な水で充分洗い流し、直ちに医師の治療を受けてください
失明の原因になることがあります。

濡れた手で AC アダプターを抜き差ししないでください。
火災や感電の原因になります。

⚠ 警告

当社の定める充電時間を越えても充電が完了しない場合は、充電を中止してください。
液漏れ、発熱、破裂の原因になります。

本製品は乳幼児の手の届かないところで使用、保管してください。
内部に指を入れるとけがややけどの原因になります。SD カードや小さい付属品、リモコン用電池などを誤って飲み込むと、窒息したり、身体に悪影響をおよぼしたりすることがあります。万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師にご相談ください。

雷が鳴りはじめたら本製品に触れないでください。
感電の原因になります。

可燃性スプレーを本製品にかけたり、本製品の周辺で使用したりしないでください。
火災や感電の原因になります。

AC アダプターはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。
差し込みが不十分な場合は、ショートや発火、感電の原因になります。

DC コードには、次のようなことをしないでください。
- 重いものを載せる
- 無理に引っ張った状態で使用する
- AC アダプターなどに巻きつける

とショートや感電、故障の原因になります

リモコン用電池を火の中に入れたり、水で濡らしたり、加熱、分解、改造、充電したりしないでください。
破裂や液もれなどで、けがややけどの原因になります。

⚠ 注意

本製品を次のようなところには置かないでください。
- 多湿なところ、結露をおこすところ(特に風呂場)
- 直射日光が強いところ、炎天下の車内、暖房器具の周辺など高温になるところ
- 平坦でないところ、振動が発生するところ
- ほこりの多いところ

ショートや感電、故障の原因になります。

充電中に可燃物を上に乗せたり、覆ったりしないでください。
熱によって変形したり、故障や火災の原因になります。

電源を入れた状態で AC アダプターに長時間触れないでください。
低温やけどの原因になります。

小さなお子様のみで使用させないでください。
故障の原因になります。

コネクターや SD カードは正しく確実に差し込んでください。
正しく差し込まないと、ショート、火災、故障の原因になります。

コネクターや SD カードを取り付けたり、取り外したりするときは、本体を持ってください。
本体の落下 / 転倒により、障害やけが、故障の原因になります。

リモコンには指定以外の電池を使用しないでください。
破裂や液もれなどの原因になります。

リモコンの電池は⊕と⊖を間違えずに入れてください。
逆に入れると、ショート、発熱、破裂、液もれなどの原因になります。

長期間使用しないときや、電池が消耗したときは、リモコンから電池を取り出してください。
液もれの原因になります。

リモコンの電池ホルダーを開けたまま使用しないでください。
ショート、発熱、破裂、液もれなどの原因になります。

初回使用時や長時間ご使用にならなかった場合は、必ず充電してからご使用ください。

■リサイクルについて

Li-ion00

充電式電池のリサイクルにご協力ください。
ご使用済みの充電式電池は、貴重な資源です。
再利用しますので、廃棄しないで、充電式電池リサイクル協力店にご持参いただくか、設置してある「充電式リサイクル BOX」にいれてください。

■ ご使用上の注意

取り扱い上の注意

- 液晶ディスプレイに衝撃や圧力を加えないでください。けがや故障の原因になります。
- 本製品を直射日光が長時間当たる場所に置かないでください。故障の原因になります。
- テレビやラジオなど、他の電子機器の近くで本製品を使用すると、相互に干渉してテレビやラジオなどに雑音やノイズが発生することがあります。その場合は、テレビやラジオから離してください。
- 使用しないときは、電源を切って、SD カードや USB ケーブルを抜いておいてください。
- ペットなどを飼っているときは、DC コードをかじったり、本体を倒したりしないように注意してください。事故や故障の原因になります。

結露について

- 寒いところから暖かいところ、または暖かいところから寒いところに急に本製品を移動したり、寒いところで暖房器具を使用したときなど、本体内部に水滴が付くことがあります。そのまま使用すると、本体の部品や SD カードなどが損傷する恐れがあります。
- 結露が発生した場合は、SD カードや USB ケーブルを抜いて、本製品の電源を切ってください。AC アダプターを本製品から抜いて、風通しのよい場所で 2、3 時間置いて乾かしてください。完全に水滴がなくなるまで使用しないでください。

お手入れについて

- 乾いたやわらかい布で軽く拭いてください。その際に、液晶ディスプレイは強く拭かないでください。汚れが取れないときは、布を水で薄めた家庭用中性洗剤に浸し、硬くしぼって軽く拭いてください。そのあとで、乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。
- アルコール、シンナーなどの揮発性の液体で拭かないでください。変質や変色を起こす恐れがあります。

本製品について

万一、本製品の故障で挿入した SD カードや接続した USB デバイスのデータが損失または消去した場合、記録内容の保証はできませんので、ご了承ください。万一の破損や消去に備え、必ずデータをコピーしておいてください。

- 次のような場合は故障ではありません。
  - 長時間電源を入れておくと、本体が熱くなる
  - 寒いところで使用すると、画面に縞が見える
  - 液晶ディスプレイに黒い点があらわれたり、白や色のついた点が消えない
- 本製品を使用したことによる他の機器の故障や不具合等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
- デザイン、仕様などは改良のため予告なく変更する場合があります。
- 本製品のうち、戦略物質または役務に該当するものの輸出にあたっては、外為法に基づく輸出または役務取引許可が必要です。

本書について

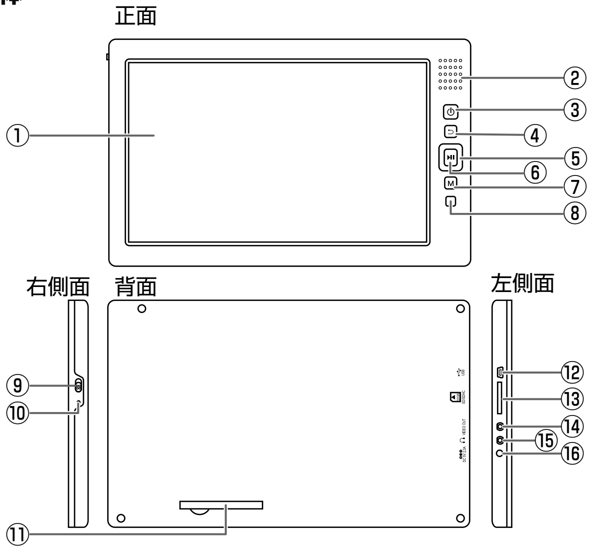
- 本書では、一部の表記を除いて "DPF-A8WM" を「本製品」と表記しています。
- 本書では、SD カードや USB デバイスなど、データを記録する媒体のことをメディアと呼びます。
- 本書は、本体での操作を中心に説明します。
- 本書の著作権は、エレコム株式会社が保有しています。
- 本書の内容の一部または全部を無断で複製／転載することを禁止させていただきます。
- 本書の内容に関するご意見、ご質問がございましたら、エレコム総合インフォメーションセンターまでご連絡願います。

商標、登録商標について

- SD ロゴ、SDHC ロゴ、miniSDHC ロゴ、microSD ロゴ、及び microSDHC ロゴは、SC-3C.LCC. の商標です。
- マルチメディアカードは独国インフィニオンテクノロジーズ社の商標です。
- その他記載されている会社名･製品名等は、一般に各社の商標または登録商標です。

各部のなまえ

■ 本体



① 液晶ディスプレイ

② 内蔵スピーカー

③ 電源ボタン(⇒ 15 ページ)

④ 戻るボタン

⑤ 方向決定ボタン
上下左右を押すと、押した方向にカーソルを移動します。

⑥ 再生 / 一時停止ボタン

⑦ メニュー / モードボタン
オプションメニューや再生中の操作画面を表示します。長押しすると、「表示出力選択」画面(⇒ 19 ページ)を表示します。

⑧ リモコン受光部

⑨ 主電源スイッチ(⇒ 15 ページ)

⑩ 電源ランプ(⇒ 15 ページ)

⑪ スタンド(⇒ 13 ページ)

⑫ USB ポート(⇒ 17 ページ)

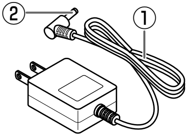
⑬ SD カードスロット(⇒ 16 ページ)

⑭ VIDEO OUT(ビデオ出力)端子
(⇒ 19 ページ)

⑮ ヘッドホン端子(⇒ 19 ページ)

⑯ DC 5V 端子(⇒ 14 ページ)

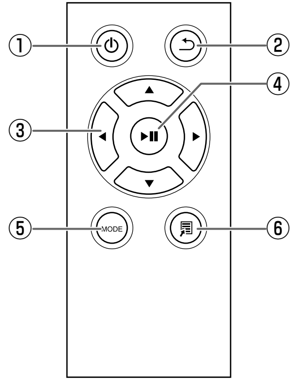
■ AC アダプター



① DC コード(⇒ 14 ページ)
② DC プラグ(⇒ 14 ページ)

■ リモコン

リモコンのボタンは、基本的に本体の同じ名前のボタンと同様の操作が行なえます。



① 電源ボタン

② 戻るボタン

③ 上方向選択ボタン　　下方向選択ボタン

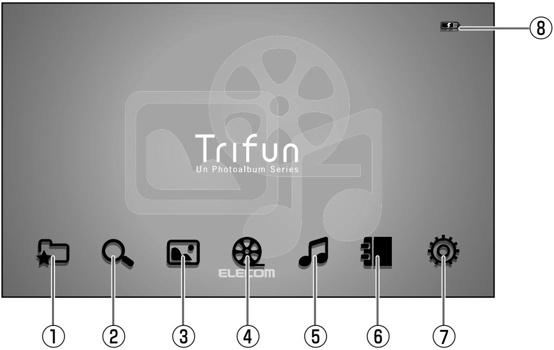
左方向選択ボタン　　右方向選択ボタン

④ 再生 / 一時停止ボタン

⑤ MODE(モード)ボタン(⇒ 19 ページ)
「表示出力選択」画面を表示します。

⑥ メニューボタン
オプションメニューや再生中の操作画面を表示します。

■ 基本画面



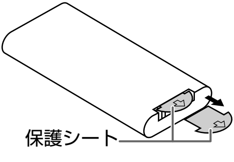
① お気に入り(⇒ 21 ページ)
② エクスプローラー（⇒ 22 ページ）
③ 写真(⇒ 23 ページ)
④ ムービー（⇒ 25 ページ）
⑤ ミュージック(⇒ 27 ページ)
⑥ 電子ブック(⇒ 29 ページ)
⑦ セットアップ(⇒ 31 ページ)
⑧ 充電インジケーター（⇒ 14 ページ）

2 準備

リモコンについて

■ 動作確認用電池を使用する

お買い上げ時は、リモコンに動作確認用電池が入っています。
はじめてリモコンを使用するときは、次の図のように保護シートを引き抜いてください。



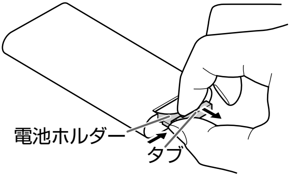
■ リモコンの電池を交換する

リモコンの反応が鈍くなったときや動かなくなったときは、新しい電池に交換してください。

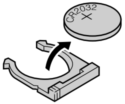
<u>指定電池：CR2032 リチウム電池</u>

1 リモコンから電池ホルダーを引き出す

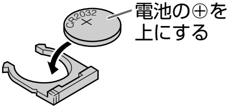
電池ホルダーのタブを内側に押したまま、電池ホルダーを引き出します。



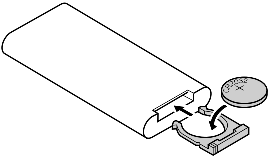
2 電池ホルダーから使用済みの電池を取り出す



3 電池ホルダーに新しい電池を入れる



4 電池ホルダーをリモコンに戻す

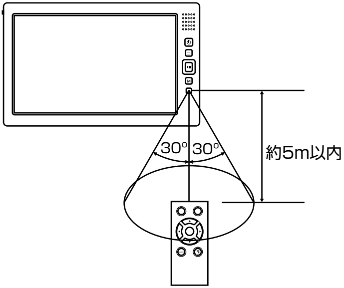


ご注意

- 電池の交換時にリモコン内部に異物が入らないように注意してください。
- 指定以外の電池は使用しないでください。指定以外の電池を使用すると破裂の恐れがあります。
- 使用済みの電池を廃棄するときは、お住まいの地域の条例および法令に従って処分してください。
- 高温多湿になるところにリモコンを置いたままにしないでください。

■ リモコンで操作できる範囲

次の図の範囲で本体の操作ができます。本体前面にリモコンを向けて、操作してください。

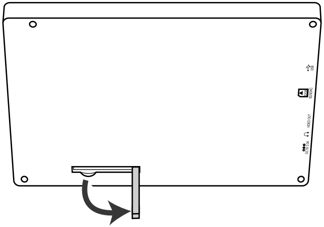


ご注意

- 直射日光の当たる場所や蛍光灯(インバーター式)の下などでは、誤動作をすることがあります。そのようなときは本体の場所を変えてください。
- ボタンを押したときの本体の反応が遅くなったときは、新しい電池に交換してください。
- リモコンを長期間使用しないときは、電池を取り出してください。

■ 本体を立てて置く

本体を立てて置くときは、背面のスタンドを図のように引き出してください。



ご注意

- 不安定な場所や台の上に置かないでください。
- スタンドを引き出した状態で、強く押さえつけないでください。

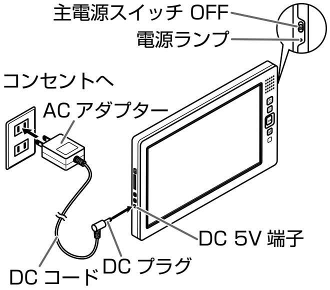
充電する

■ 電源 OFF の状態で充電する

初回使用時や長時間ご使用にならなかった場合は、必ず充電してからご使用ください。

1 AC アダプターをコンセントに差し込む

2 AC アダプターの DC プラグを本体の DC 5V 端子に差し込む



充電時の電源ランプ

状態	電源ランプ
充電中	赤色点灯
充電完了	消灯

3 充電完了後は AC アダプターを本体とコンセントから抜く

■ 起動した状態で充電する

本製品は電源 ON の状態でも充電できます。

充電時の電源ランプと電源インジケーター

状態	電源ランプ	電源インジケーター
充電中	オレンジ色点灯	
充電完了	緑色点灯	

ご注意

- 充電中に異常が起こったときは、すぐに AC アダプターをコンセントから抜いてください。
- DC プラグを金属物でショートさせないでください。故障の原因になります。
- 使用しないときは、AC アダプターをコンセントと本体の両方から抜いてください。

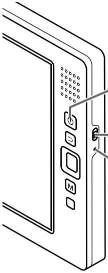
電源をオン / オフする

■ 主電源をオン / オフする

長期間使用しないときは、主電源で電源を切り替えてください。

O　N：電源ランプが点灯し、電源が入ります。

OFF：電源ランプが消え、電源がオフになります。



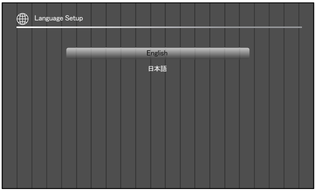
■ 電源ボタンで電源をオン / オフする

主電源スイッチが ON の状態で⏻を長押し(約 3 秒)するたびに、本体の電源オン / オフが切り替わります。

電源がオンになると、電源ランプが緑色に点灯し、メニュー画面が表示されます。

メモ

- 節電モードや電源オン時の動作(ブートモード)は、セットアップメニューで設定することができます。(⇒ 32 ページ)
- 初めて電源を入れたときや、セットアップメニューで「出荷時設定に戻す」を実行した直後は、言語を選ぶ画面が表示されます。▢ / ▢で言語を選び、⏯を押してください。



- 2 回目以降の起動では、終了時に使用していた機能の画面が表示されます。終了時に写真を見ていたときは、スライドショーを開始します。

ご注意

- リモコンの⏻では、電源を ON/OFF できますが起動はできません。本体の⏻で起動を行ってください。

3 接続する

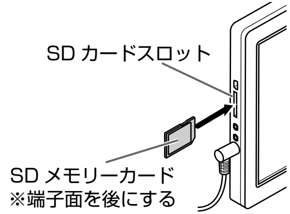
本製品に SD メモリーカードを挿入したり、USB ストレージを接続したりすると、メディア内のデータを再生したり、本体メモリーにコピーしたりすることができます。また、コンポーネント端子を持つテレビと接続して、本製品の画面をテレビで見ることもできます。

ご注意

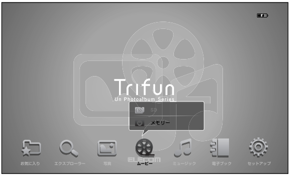
- コネクターや SD メモリーカードを抜き差しするときは、本体の電源をオフにしてください。
- コネクターや SD メモリーカードを抜き差しするときに、強い力を加えないでください。
- 挿入時に強い抵抗を感じる場合は、端子やコネクターの向きおよび形状が正しいかを確認してください。無理に押し込むと、けがや破損の原因になります。
- 端子部には触れないでください。けがや破損の原因になります。
- 電源がオンのとき、およびメディア内のデータを再生中にコネクターや SD メモリーカードを抜かないでください。データの破損や消去の原因になります。

SD メモリーカードを挿入する

SD メモリーカードは表面を前にして、「カチッ」と音がするまで確実に挿入してください。



SD カードが正しく挿入されると、メニュー画面で再生ドライブが選択できるようになります。



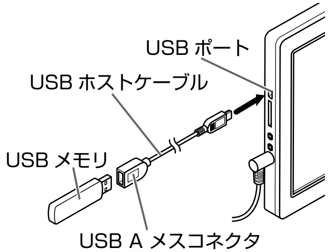
メモ

- miniSD カード、microSD カード、miniSDHC カード、microSDHC カードを使用する場合は、専用のアダプターを使用してください。
- 対応メディアの詳細は、⇒ 39 ページを参照してください。

USB デバイスと接続する

付属の USB ホストケーブル(USB デバイス接続用)を使って、本体と USB デバイスを接続します。

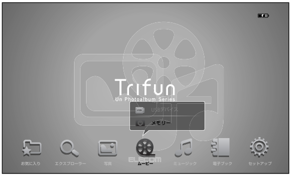
■ USB メモリの場合



1 付属の USB ホストケーブルの USB ミニ B コネクタを本機の USB ポートに接続する

2 USBメモリの USB コネクタを USB ホストケーブルの USB A メスコネクタに挿入する

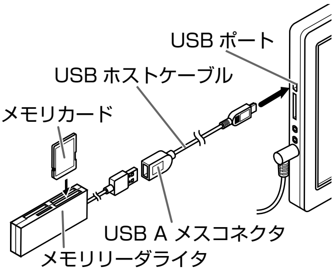
USB メモリが正しく接続されると、メニュー画面で再生ドライブが選択できるようになります。



メモ

SD メモリーカードと USB メモリは同時に接続し、切り替えて使用することができます。

■ メモリリーダライタの場合



1 付属の USB ホストケーブルの USB ミニ B コネクタを本機の USB ポートに接続する

2 メモリカードをメモリリーダライタに挿入する

ご注意

複数枚のメモリカードを同時に使用可能なメモリリーダライタの場合でも、挿入するメモリカードは 1 枚のみにしてください。正しく表示されないことがあります。

3 メモリリーダライタの USB コネクタを USB ホストケーブルの USB A メスコネクタに挿入する

USB デバイスが正しく接続されると、メニュー画面で再生ドライブが選択できるようになります。



メモ

SD メモリーカードとメモリリーダライタは同時に接続し、切り替えて使用することができます。

ご注意

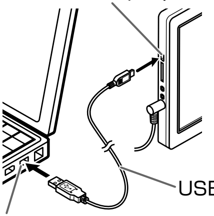
動作条件は、ご使用のメモリリーダライタの取扱説明書で確認してください。

メモ

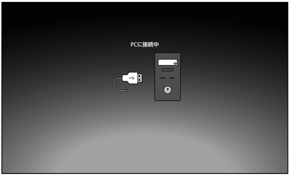
使用できるメモリカードは、メモリリーダライタによって異なります。詳細はメモリリーダライタの取扱説明書を参照してください。

パソコンと接続する

付属の USB ケーブル(パソコン接続用)を使って、本製品とパソコンを接続します。
パソコンのハードディスクに保存されたデータを、内蔵メモリーにコピーすることができます。



パソコンと本体が正しく接続されると、本体画面は次のように表示されます。データのコピーや編集は、パソコンの操作で行います。



メモ

- パソコンの操作は、USB デバイスをパソコンに直接接続した場合と同様です。詳しくは、パソコンの取扱説明書を参照してください。

テレビと接続する

付属のコンポーネントケーブルを使うと、本製品の映像がコンポーネント端子を持つハイビジョンテレビで見ることができます。

Y(緑)端子 ←緑ケーブル
Cb/Pb(青)端子 ←青ケーブル
Cr/Pr 端子(赤) ←赤ケーブル

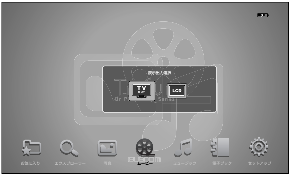
ご注意

「赤・白・黄色」のコンポジットビデオ端子では使用できません。

■ 表示出力をテレビに切り替える

1 本体の[M]を長押し(約 3 秒)する、またはリモコンの(MODE)を押す。

「表示出力選択」画面が表示されます。



2 [□] / [□]で「TV OUT」を選ぶ

本体の表示内容が、テレビ側で表示されます。

表示を本体に戻すには、手順 1 の操作をします。

ご注意

[LCD]の選択肢が表示されますが、選択しても機能しません。

ヘッドホンを接続する

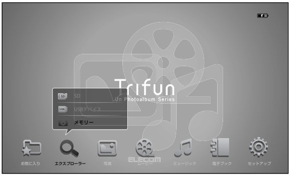
φ 3.5mm ステレオミニプラグのヘッドホンを接続します。φ 3.5mm ステレオミニプラグのスピーカーを接続することもできます。

ファイルをコピーする

SD カードや USB デバイスに保存した写真などのファイルを、本製品の内蔵メモリーにコピーします。

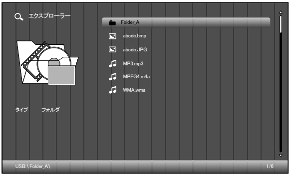
1 SD カードを挿入する(⇒ 16 ページ)、または USB デバイスを接続する(⇒ 17 ページ)

2 □ / □で「エクスプローラー」を選び、□ / □で「SD カード」または「USB デバイス」を選び⏯を押す

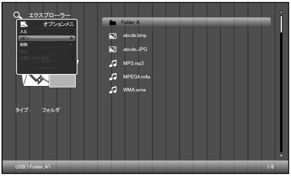


3 必要な場合は⏯または□でフォルダーを開く

4 コピーしたい「フォルダー」または「ファイル」を□ / □ / □ / □で選びMを押す



5 □ / □で「コピー」を選び⏯または□を押す



6 □ / □で「決定」を選び□を押す



コピーが実行されます。

ご注意

- 内蔵メモリーにすでに同じ名前のフォルダーまたはファイルがある場合は、「上書きしますか？」と確認画面が表示されます。「決定」を選ぶと上書きされます。
- フォルダー名やファイル名は本体操作で変更できません。あらかじめ名称を編集しておくか、パソコンに接続して編集してください。
- 対応ファイル形式については、「製品仕様」(⇒ 39 ページ)を参照してください。

メモ

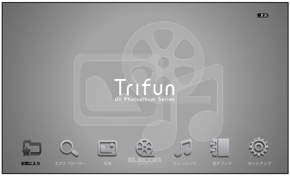
パソコンのハードディスクに保存したファイルをコピーするには、付属の USBケーブル(パソコン接続用)を使って、本製品とパソコンを接続します。(⇒ 18 ページ)

4 使いかた

お気に入りを見る

「お気に入り」に登録した写真と音楽だけのスライドショーを見ることができます。

1 [□] / [□]で「お気に入り」を選び[⏯]を押す



「お気に入り」のスライドショーが始まります。

- [□] / [□] 音量調整
  音量調整バー（レベル 0 ～ 30）が表示されます。
- [□] / [□] 前後の写真を表示
  「お気に入り」の写真総数と現在の表示順、詳細情報が表示されます。
- [⏯] 一時停止する
  一時停止した場合は、写真の詳細情報、「お気に入り」の写真総数と現在の表示順が表示されます。
  もう一度押すとスライドショーを再開します。
- [M] / [⏯]（長押し）オプションメニューを表示
  BGM のオン / オフやスライドショーの効果などが設定できます。（⇒ 24 ページ）
  ただし、「ソース」は選択できません（「お気に入り」固定）。
  [M] / [↩]（長押し）でオプションメニュー表示を解除します。

メモ

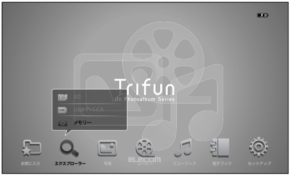
- 「お気に入り」への登録は、エクスプローラーのオプションメニューで行います。（⇒ 22 ページ）
- 「お気に入り」に登録された音楽は、BGM としてファイル名順に再生されます。順序の変更や選曲はできません。
- 「お気に入り」に音楽が登録されていない場合は、内蔵メモリーに保存された音楽が再生されます。
- 「お気に入り」に登録できるファイルは写真と音楽だけです。ムービーやテキストは登録できません。

エクスプローラーを使う

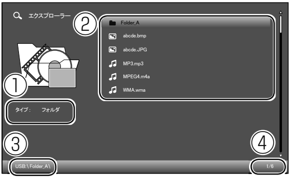
エクスプローラーは、外部メディアから内蔵メモリーにファイルをコピーし、編集するための画面です。

1 SD メモリーカードを挿入する(⇒ 16 ページ)、または USB デバイスを接続する(⇒ 17 ページ)

2 □ / □で「エクスプローラー」を選び、□ / □で「SD カード」または「USB デバイス」、「メモリー」を選び⏯を押す



「メモリー」を選んだ場合



① 詳細情報表示(タイプ / 容量 / 日付)
② フォルダー / ファイル種別表示
- フォルダー
- 写真ファイル
- 音楽ファイル
- ムービーファイル
- テキストファイル

③ 階層表示
④ 選択順 / 総項目数

- □ / □ 前後のファイル / フォルダーを選択
- ⏯または□ 表示 / 再生を実行

フォルダーを選択したときは、フォルダーを開きます。

3 ⮌または□で前画面に戻る

■エクスプローラーのオプションメニュー

1 エクスプローラー画面でⓂを押す、または⏯を長押しする

2 □ / □で項目を選ぶ



3 ⏯または□を押す

入る

表示 / 再生を実行します。

コピー（外部メディア選択時のみ）

確認画面で「決定」を選ぶと内部メモリーにコピーが実行されます。フォルダーを選択してコピーすると、フォルダー全体がコピーされます。

削除

確認画面で「決定」を選ぶと削除が実行されます。

取込

本機では使用できません。

お気に入りに追加

(写真、音楽のみ)

確認画面で「決定」を選ぶと、お気に入りに登録されます。

- 内蔵メモリー内のファイルは、「Favorite」フォルダーに追加されます。
- 外部メディアのファイルは、内蔵メモリーの「Favorite」フォルダーにコピーされます。
- フォルダーをお気に入りに追加することはできません。

ご注意

- 内蔵メモリーにすでに同じ名前のフォルダーまたはファイルがある場合は、「上書きしますか？」と確認画面が表示されます。「決定」を選ぶと上書きされます。
- フォルダー名やファイル名は本体操作で変更できません。あらかじめ名称を編集しておくか、パソコンに接続して編集してください。

メモ

メニュー画面は操作しない状態が数秒続くと自動的に閉じます。

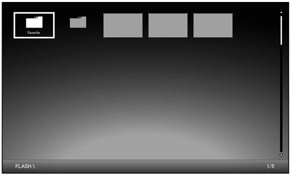
写真を見る

内蔵メモリーや外部メディアの写真を選んでスライドショーを始めます。BGMは「ミュージック」で設定された曲（内蔵メモリーの全曲、または選択中のフォルダー内の曲）が再生されます（お買い上げ時の設定）。

1 ◀ / ▶ で「写真」を選び、▲ / ▼ で「SDカード」または「USBデバイス」、「メモリー」を選び ▶II を押す



2 ▲ / ▼ / ◀ / ▶ で写真を選ぶ



- フォルダーを選んだ場合はフォルダーが開くので、続けて写真を選びます。
- 前回スライドショー中に停止した場合は、自動的にスライドショーが始まります。（リジューム機能）

3 [▶II]を押す
選択された写真からスライドショーが始まります。

- □ / □ 音量調整
  音量調整バー（レベル 0 ～ 30）が表示されます。

  ご注意

  > オプションメニューの B.G.M が OFF のときは、音量の変更をしても音は出ません。

- □ / □ 前後の写真を表示
  スライドショーの写真総数と現在の表示順、詳細情報が表示されます。
- [▶II] 一時停止する
  一時停止した場合は、写真の詳細情報、スライドショーの写真総数と現在の表示順が表示されます。
  もう一度押すとスライドショーを再開します。

4 [↩]でインデックス表示に移動する

■ 写真表示のオプションメニュー

1 写真表示中に[M]を押す、または[▶II]を長押しする

2 □ / □で項目を選ぶ



3 各項目の設定を行う
- 設定内容が表示されている項目は、[左] /[右]で選択します。
- ＞が表示されている項目は、[>II]を繰り返し押して選択します。
- お買い上げ時の設定は太字で示しています。

ソース
スライドショーの対象を設定します。
- **全般**
  内蔵メモリーまたは外部メモリー内のすべての写真
- ルートフォルダ
  現在選択されているフォルダー内の写真

B.G.M
音楽再生のオン/オフを設定します。
ON/OFF

ズーム
写真を拡大表示します。（5 段階）
1/2/3/4/5

回転
写真を回転表示します。(90度単位)
0° /90° /180° /270°

明るさ
画面の明るさを設定します。（10 段階）

1/2/3/4/5/6/7/8/9/10

スライドショー

写真の切替効果を設定します。それぞれの切替効果をお楽しみください。
ランダム / 下から上へ / 上から下へ/左から右へ/右から左へ/カーテン開/カーテン閉/箱伸縮/ボックスイン / ブラインド / リップル / 左上→右下 / ページ閉じ / なし

再生速度

写真の切替速度を設定します。
早い(3秒)/**中(5秒)**/遅い(10秒)/00:01:30(数値設定)

- 数値設定を選択したときは、[▶II]を押してから[□]/[□]で単位を選択し、[□]/[□]で数値を変更します。

スケール

写真の表示モードを設定します。

- **自動**
  画面いっぱいに表示されるように自動的に調整します。
- オリジナル
  写真の縦横比を維持します。画面に黒い帯が表示されることがあります。
- 切り取り
  画面の縦横比に合わせて、はみ出した部分をカットします。
- ストレッチ
  画面の縦横比に合わせて写真を引き伸ばします。

4 [M]または[↩]でメニューを閉じる

メモ

メニュー画面は操作しない状態が数秒続くと自動的に閉じます。

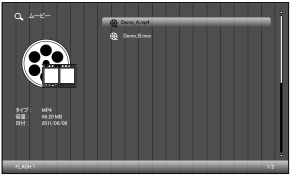
ムービーを見る

内蔵メモリーや外部メディアのムービーファイルを選んで再生します。

1 [□]/[□]で「ムービー」を選び、[□]/[□]で「SD カード」または「USB デバイス」、「メモリー」を選び[▶II]を押す



2 [□]/[□]でムービーファイルを選ぶ



- フォルダーを選んだ場合はフォルダーが開くので、続けてムービーファイルを選びます。
- 前回ムービー再生中に停止した場合は、自動的に同じムービー再生が始まります。（リジューム機能）

3 [▶II]を押す

4 前回停止箇所から再生するときは、「決定」を選び▶IIを押す
冒頭から再生するときは、「取消し」を選び▶IIを押す



選択したファイルからムービー再生が始まります。

- □ / □ 音量調整
  音量調整バー（レベル 0 ～ 30）が表示されます。
- □ 早送り / □ 早戻し
  再生位置表示バーが表示されます。
- ▶II 一時停止する
  ムービーファイルの詳細情報と設定内容が表示されます。
  もう一度押すと再生を再開します。

5 ↩でインデックス表示に移動する

■ ムービー再生中の便利な操作

1 ムービー再生中にMを押す、または▶IIを長押しする

2 □ / □で項目を選ぶ



3 各項目の設定を行う

- お買い上げ時の設定は太字で示しています。

|◀ 前へ

▶IIで1つ前のムービーを再生します。

▶| 次へ

▶IIで次のムービーを再生します。

▶II 再生 / 一時停止

▶IIを押すたびに再生 / 一時停止が切り替わります。

◀◀ 早戻し

▶IIで早戻しします。（再生中のムービー内）
▶IIを繰り返し押すと、4 段階の速度が設定できます。
早戻しを止めるには、▶IIまたは↩を押します。

▶▶ 早送り

▶IIで早送りします。（再生中のムービー内）
▶IIを繰り返し押すと、4 段階の速度が設定できます。
早送りを止めるには、▶IIまたは↩を押します。

スキップ

▶IIを押すとタイムコード入力状態になります。



□ / □で単位を選び、□ / □で数値を変更して▶IIを押すと、設定したタイムコード位置にスキップします。

リピート

▶IIを繰り返し押すと、リピートモードが切り替わります。
全てをリピート /1 曲リピート / リピートしない / 全てを 1 回

画像表示

▶IIを繰り返し押すと、表示モード

が切り替わります。

- **自動**
  画面いっぱいに表示されるように自動的に調整します。
- オリジナル
  画像の縦横比を維持します。画面に黒い帯が表示されることがあります。
- 切取
  画像の縦横比に合わせて、はみ出した部分をカットします。
- ストレッチ
  画面の縦横比に合わせて画像を引き伸ばします。

サブタイトル

ムービーファイルにサブタイトル情報が含まれている場合、表示方法を設定します。

音声選択

[▶II]を繰り返し押すと、音声モードが切り替わります。

ステレオ / 左 / 右

ご注意

- 内蔵スピーカーはモノラルスピーカーです。
- 音源によっては、左・右・ステレオの音が変化なく聞こえます。

輝度

[▶II]を押すと輝度調整バーが表示されます。[◀] / [▶]で変更し、[M]または[↩]を押します。

1/2/3/4/5/6/7/8/9/10

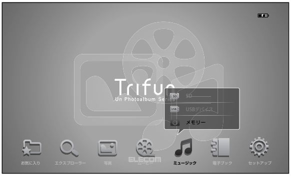
メモ

コントロール画面は操作しない状態が数秒続くと自動的に閉じます。

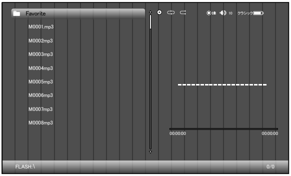
ミュージックを聞く

内蔵メモリーや外部メディアの音楽ファイルを選んで再生します。

1 [◀] / [▶]で「ミュージック」を選び、[▲] / [▼]で「SD カード」または「USB デバイス」、「メモリー」を選び[▶II]を押す



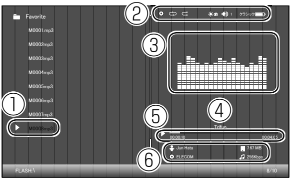
2 [▲] / [▼]で音楽ファイルを選ぶ



- フォルダーを選んだ場合はフォルダーが開くので、続けて音楽ファイルを選びます。
- 前回再生中に停止した場合は、自動的に同じ曲の再生が始まります。（リジューム機能）

3 [▶II]を押す

選択したファイルから再生が始まります。



① 再生中ファイル
② 設定状態表示
③ イコライザー
④ 曲名
⑤ 再生位置表示バー
⑥ 再生中の曲の詳細情報
　アーティスト名
　アルバム名
　ファイルサイズ
　ビットレート

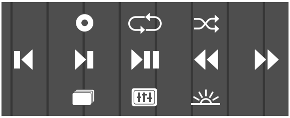
- / 音量調整
  音量調整バー（レベル 0 ～ 30）が表示されます。
- / 前後の曲を再生
- 一時停止する
  もう一度押すと再生を再開します。

4 で再生を停止する

■ 音楽再生中の便利な操作

1 音楽再生中にⓂを押す、またはを長押しする

2 / / / で項目を選ぶ



3 各項目の設定を行う

- お買い上げ時の設定は太字で示しています。

ファイルソース

で音楽再生の対象を設定します。

- **全てのディレクトリ**
  内蔵メモリーまたは外部メモリー内のすべての曲
- カレントディレクトリ
  現在選択されているフォルダー内の曲

リピート

を繰り返し押すと、リピートモードが切り替わります。
全てをリピート /1 曲リピート / リピートしない / 全てを 1 回

再生順番設定

で再生順を設定します。

- **再生順番設定**
  ファイル名順に全曲を再生します。
- 再生順番 _ ランダム
  順不同で全曲を 1 回ずつ再生します。

前へ

で 1 つ前の曲を再生します。

次へ

で次の曲を再生します。

再生 / 一時停止

を押すたびに再生 / 一時停止が切り替わります。

早戻し

を押し続けて早戻しします。（再生中の曲内）
指を離すと、再生に戻ります。

▶▶ 早送り

⏯を押し続けて早送りします。（再生中の曲内）
指を離すと、再生に戻ります。

バックグラウンド

⏯を繰り返し押して背景を選びます。9 種類から選べます。
1/2/3/4/5/6/7/8/9

イコライザー

⏯を繰り返し押してプリセットイコライザーを選びます。
クラシック / ジャズ / ポップ / ロック / ノーマル

バックライト OFF

電池の消耗を抑えるため、一定時間が経過したらバックライトを消すことができます。
⏯を繰り返し押して、無操作時にバックライトを消すまでの時間を設定します。
しない /10 秒後 /30 秒後 /60 秒後 /90 秒後

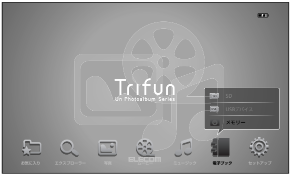
メモ

コントロール画面は操作しない状態が数秒続くと自動的に閉じます。

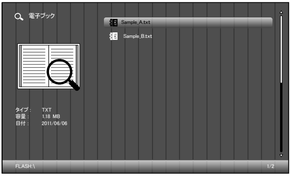
電子ブックを読む

内蔵メモリーや外部メディアのテキストファイルを選んで表示します。BGM は「ミュージック」で設定された曲（内蔵メモリーの全曲、または選択中のフォルダー内の曲）が再生されます（お買い上げ時の設定）。

1 □ / □で「電子ブック」を選び、□ / □で「SD カード」または「USB デバイス」、「メモリー」を選び⏯を押す

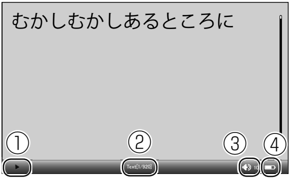


2 □ / □でテキストファイルを選ぶ



- フォルダーを選んだ場合はフォルダーが開くので、続けてテキストファイルを選びます。
- 前回電子ブック表示中に閉じた場合は、自動的に同じ電子ブックが開きます。（リジューム機能）

3 [▶II]を押す
電子ブックが開きます。



① BGM 再生状態
② タイトル(現在のページ / 総ページ数)
③ 音量レベル
④ 充電状態

- [□] / [□] BGM の音量調整
  音量調整バー（レベル 0 ～ 30）が表示されます。
- [□] / [□] ページ送り
  押すたびに 1 ページずつ前後に送ります。押し続けると高速でページ送りします。
- [▶II] BGM の一時停止
  もう一度押すと再生を再開します。

4 [↩]で電子ブックを閉じる

■ 電子ブックのオプションメニュー

1 電子ブック表示中に[M]を押す、または[▶II]を長押しする

2 [□] / [□]で項目を選ぶ



3 各項目の設定を行う

- [□] / [□]で設定内容を選択し、[▶II]で決定します。
- お買い上げ時の設定は太字で示しています。

B.G.M

BGM 再生のオン / オフを設定します。
ON/OFF

自動スクロール

自動スクロールの速度を設定します。（4 段階）
遅い /OFF/ 早い / 中

文字色

文字色を設定します。
黒 / 白 / ブラウン / 青い白 / 紫

文字の大きさ

文字の大きさを設定します。
小 / **中** / 大

ページ移動

ページを指定してページ移動します。
□/□で桁を選び、□/□で数値を変更します。すべての桁を指定したあと[⏯]で決定します。[M]または[↩]でメニューを閉じると移動が実行されます。お買い上げ時の設定は「1」です。

背景スタイル

背景を選びます。5 種類から選べます。
スタイル 1/2/3/4/**5**

4 [M]または[↩]でメニューを閉じる

メモ

メニュー画面は操作しない状態が数秒続くと自動的に閉じます。

各機能を設定する(セットアップ)

本製品のお買い上げ時の設定を変更することができます。変更した内容は、「お気に入り」「写真」など各操作画面の設定にも自動的に反映されます。

1 □/□で「セットアップ」を選ぶ



2 □/□で設定項目を選び[⏯]を押す

選んだ項目の設定画面が表示されます。

- 設定内容が表示されている項目は、□/□または[⏯]を繰り返し押して選択します。
- ＞が表示されている項目は、[⏯]で実行または表示します。
- お買い上げ時の設定は太字で示しています。

■ 共通

言語

画面表示の言語を選択します。
日本語 /English

バックグラウンド

操作画面の背景を選びます。9 種類から選べます。
スタイル **1**/2/3/4/5/6/7/8/9

製品情報

製品情報を表示します。

アップデート

確認画面で「決定」を選ぶと、ファームウェアを更新します。

出荷時設定に戻す

確認画面で「決定」を選ぶと、本製品の設定をお買い上げ時の状態に戻します。

ブートモード

電源を入れたときに自動的に始まる動作を設定します。「保存してシャットダウン」設定では、電源を切ったときの状態が表示されます。

保存してシャットダウン / 写真 / ムービー / ミュージック / 電子ブック

■ 電源

節電モード

節電モードを ON に設定すると「バックライト OFF」と「電源 OFF」の機能が使用できます。

ON/OFF

バックライト明るさ

バックライトの明るさを設定します。

1/2/3/4/5/6/7/8/9/10

バックライト OFF

一定時間が経過したらバックライトを消すことができます。どのボタンでも。押すと復帰します。

しない /10 秒後 /30 秒後 /60 秒後 /90 秒後

ご注意

写真・ムービーの再生中は機能しません

電源 OFF

一定時間が経過したら電源を切ることができます。

しない /1 分後 /3 分後 /5 分後 /10 分後

ご注意

写真・ムービー・ミュージックの再生中は機能しません

メモ

設定画面で内蔵電池の充電状態(%)が確認できます。

■ TV 出力

表示出力

本製品とテレビを接続したとき、表示出力を外部テレビに切り替えます。TV OUT から本体画面表示に戻るには、Mボタンを長押し(約 3 秒)、またはリモコンのMODEを押します。

本体画面 /TV OUT

出力形式

外部テレビに出力するときの出力形式を選びます。「1080」は「1080i」です。

1080/720P

■ マルチメディア

ムービー

リピート

リピートモードを設定します。

全てリピート /1 曲リピート /1 回 /1 回リピート

表示モード

画像の表示モードを設定します。

- **自動**
  画面いっぱいに表示されるように自動的に調整します。

- オリジナル
  画像の縦横比を維持します。画面に黒い帯が表示されることがあります。
- 切り取り
  画像の縦横比に合わせて、はみ出した部分をカットします。
- ストレッチ
  画面の縦横比に合わせて画像を引き伸ばします。

写真

ソース

スライドショーの対象を設定します。

- **全般**
  内蔵メモリーまたは外部メモリー内のすべての写真
- ルートフォルダ
  現在選択されているフォルダー内の写真

B.G.M

音楽再生のオン / オフを設定します。

ON/OFF

スライドショー

写真の切替効果を設定します。それぞれの切替効果をお楽しみください。

ランダム / 下から上へ / 上から下へ / 左から右へ / 右から左へ / カーテン開 / カーテン閉 / 箱伸縮 / ボックスイン / ブラインド / リップル / 左上→右下 / ページ閉じ / なし

再生速度

写真の切替速度を設定します。

早い / **中** / 遅い /00:01:30

- 数値設定を選択したときは、⏯を押してから◁ / ▷で単位を選択し、△ / ▽で数値を変更します。

スケール

写真の表示モードを設定します。

- **自動**
  画面いっぱいに表示されるように自動的に調整します。
- オリジナル
  写真の縦横比を維持します。画面に黒い帯が表示されることがあります。
- 切り取り
  画面の縦横比に合わせて、はみ出した部分をカットします。
- ストレッチ
  画面の縦横比に合わせて写真を引き伸ばします。

ミュージック

ソース

音楽再生の対象を設定します。

- **全般**
  内蔵メモリーまたは外部メモリー内のすべての曲
- ルートフォルダ
  現在選択されているフォルダー内の曲

再生順番設定

⏯で再生順を設定します。

- **順番**
  ファイル名順に全曲を再生します。
- ランダム
  順不同で全曲を 1 回ずつ再生します。

リピート

リピートモードを設定します。
全てリピート /1 曲リピート /1 回 /1 回リピート

電子ブック

B.G.M

BGM 再生のオン / オフを設定します。
ON/OFF

自動スクロール

自動スクロールの速度を設定します。（4 段階）
遅い /OFF/ 早い / 中

T 文字色

文字色を設定します。
黒 / 白 / ブラウン / 青い白 / 紫

T 文字の大きさ

文字の大きさを設定します。
小 / **中** / 大

背景スタイル

背景を選びます。5 種類から選べます。
スタイル **1**/2/3/4/5

ヘルプ
エレコム総合インフォメーションセンターの情報を表示します。

5 付録

困ったときは

故障かな？と思ったときは、すぐに使用を中止して、本製品の電源を切り、AC アダプターを接続している場合はコンセントから抜いてください。そのあとで、次の表で異常の状態と原因を確認し、記載されている対処方法を試してください。
それでも異常が解決しない場合は、お買い上げの販売店またはエレコム総合インフォメーションセンターまでご連絡ください。

異常の状態	原因	対処方法
本体に電源が入らない	内蔵の充電池が消耗している	AC アダプターを本体とコンセントに正しく接続して充電してください。（⇒ 14 ページ）
	主電源スイッチが「OFF」になっている	主電源スイッチを「ON」にしてください。（⇒ 15 ページ）
	リモコンの⏻で起動しようとしている	本体の⏻で起動してください。（⇒ 15 ページ）
充電できない	AC アダプターが正しく接続されていない	AC アダプターを本体とコンセントに正しく接続してください。（⇒ 14 ページ）
	主電源スイッチが「OFF」になっている	主電源スイッチを「ON」にしてください。（⇒ 15 ページ）
本体ボタンで操作できない	磁気や静電気の影響を受けている	マグネットの近くなどの磁場が発生するところから本体を離してください。
リモコンで操作できない	リモコンに正しく電池が入っていない	・保護シートを引き抜いてください。(⇒ 12ページ) ・電池の⊕を上にして電池ホルダーに入れてください。（⇒ 12 ページ）
	リモコンの電池が寿命になった	新しい電池に交換してください。（⇒ 12 ページ）
	リモコンの操作範囲を超えている	約 5m、上下左右 30° 以内に近づいてください。（⇒ 13 ページ）
	リモコンと本体の間に障害物がある	障害物を取り除いてください。
	本体のリモコン受光部がふさがれている、強い光が当たっている	本体を別の場所に移動してください。

異常の状態	原因	対処方法
写真や画像が映らない	SD カードが正しく挿入されていない	SD カードを正しく挿入してください。(⇒ 16 ページ)
	USB デバイスが正しく接続されていない	USB デバイスを正しく接続してください。(⇒ 17 ページ)
	ファイル形式が本製品に対応していない	本製品が対応しているファイル形式を確認してください。(⇒ 39 ページ)
	磁気や静電気の影響を受けている	マグネットの近くなどの磁場が発生するところから本体を離してください。
左右に黒い帯が表示される、画像が縦または横に伸びている、上下が切れている	「スケール」または「画像表示」の設定が影響している	写真の場合は、オプションメニューの「スケール」設定を変更してください。(⇒ 24 ページ) ムービーの場合は、操作パネルの「画像表示」設定を変更してください。(⇒ 26 ページ)
スライドショーが始まらない	スライドショーが一時停止状態になっている	▶IIを押してスライドショーを再開してください。
	「再生速度」設定が「遅い」になっている	オプションメニューで「再生速度」を変更してください。(⇒ 25 ページ)
パソコンとつながらない	USB ケーブルが正しく接続されていない	USB ケーブルを正しく接続してください。(⇒ 18 ページ)
	接続中に不具合が生じた	いったん本体とパソコンの電源を切って USB ケーブルを外し、再度接続して電源を入れてください。
音が出ない	音量が「0」になっている	音量を調整してください。(⇒ 21 ページ)
	「BGM」設定が「OFF」になっている	「BGM」設定を「ON」にしてください。(⇒ 33 ページ)
接続したテレビに映像が表示されない	赤・白・黄色のコンポジットビデオ端子に接続している	緑・青・赤色のコンポーネント端子に接続してください。(⇒ 19 ページ) ※コンポーネント端子では音声の出力はできません。
	「表示出力選択」設定が「LCD」になっている	「表示出力選択」画面で「TV OUT」を選んでください。(⇒ 19 ページ)
メモリリーダライタに挿入したメモリカードが認識されない	メモリリーダライタに複数のメモリカードを挿入している	メモリリーダライタに挿入するメモリカードは 1 枚のみにしてください。(⇒ 17 ページ)

異常の状態	原因	対処方法
内蔵メモリーにフォルダーが作成できない	「Favorite」フォルダー以外のフォルダーは本体操作で作成できない	外部メディアにフォルダーを保存し、エクスプローラーのオプションメニューでフォルダー全体をコピーしてください。(⇒ 22 ページ)
フォルダー名やファイル名を変更できない	フォルダ名やファイル名は本体操作では変更できない	本製品にコピーする前に編集しておくか、本製品をパソコンに接続して編集してください。(⇒ 18 ページ)
「お気に入り」に写真や音楽を登録できない	「お気に入り」画面では写真や音楽を登録できない	「お気に入り」に写真や音楽を登録するには、「エクスプローラー」画面を選択し、オプションメニューで操作してください。(⇒ 22 ページ)
すべての写真がスライドショーで表示されない	スライドショーの「ソース」が「ルートディレクトリ」になっている	写真表示のオプションメニューで「ソース」の設定を「全般」に設定してください。(⇒ 24、33 ページ)
ムービー再生が 1 回で止まらない	ムービー再生のリピートモードが「全てをリピート」になっている	ムービー再生中のリピートモードを「リピートしない」に設定してください。(⇒ 26、32 ページ)
ミュージック再生が 1 回で止まらない	ミュージック再生のリピートモードが「全てをリピート」になっている	ミュージック再生中のリピートモードを「リピートしない」に設定してください。(⇒ 26、33 ページ)
電子ブックの文字が小さい	電子ブックの「文字の大きさ」設定が「小」になっている	電子ブックの「オプションメニュー」で「文字の大きさ」を「中」または「大」に設定してください。(⇒ 30、34 ページ)
どのボタンをおしても画面が切り替わらない	想定外の操作を行なった可能性があります	主電源スイッチを OFF にして DC プラグを抜き、1 分程度待った後 DC プラグを差し込んで主電源スイッチを ON にします。
⊘ のマークが表示された	禁止操作を行なった可能性があります	主電源スイッチを OFF にして DC プラグを抜き、1 分程度待った後 DC プラグを差し込んで主電源スイッチを ON にします。
バックライト OFF や電源 OFF の機能が働かない	節電モードが OFF になっている可能性があります	節電モードを ON にしてください。(⇒ 32 ページ)
	写真・ムービーの再生中は「バックライト OFF」機能、「電源 OFF」機能は働きません 「電源 OFF」機能はミュージック再生中も働きません	

ユーザーサポートについて

【よくあるご質問とその回答】
www.elecom.co.jp/support
こちらから「製品 Q&A」をご覧ください。

【お電話・FAX によるお問い合わせ(ナビダイヤル)】
エレコム総合インフォメーションセンター
TEL：0570-084-465　FAX：0570-050-012

[受付時間]
9:00 ～ 19:00　年中無休

※本製品の保証書は再発行致しませんので内容をお確かめの上大切に保管してください。

製品仕様

シリーズ名	Un Photoalbum[アン フォトアルバム]
製品名	Trifun[トリファン]
製品型番	DPF-A8WM10BK DPF-A8WM10WH
画面サイズ	8 インチワイド
液晶タイプ	TFT(ワイド)
最大解像度	1280 × 768 pixel
対応メディア	SD メモリーカード、SDHC メモリーカード(最大容量32GB)、マルチメディアカード ※ SDXC メモリーカード非対応 USB メモリ(USB ホストケーブル使用)、 カードリーダー（USB ホストケーブル使用）
USB ポート	ミニ B タイプ
対応ファイル形式	画像：BMP、JPG、JPEG、PNG 映像：TS、TP、RM、RMVB、AVI、MPG、MPEG、VOB、DAT、M2TS、MTS、MP4 音声：MP3、MPEG、PCM、COOKER(64.1KBPS)、AAC、FLAC、APE、WMA、WAV 文章：TXT
HD 出力	ビデオ出力：Y・Cb/Pb・Cr/Pr 解像度：720P、1080i
音声出力	ϕ 3.5mm ステレオミニプラグ
電源入力	DC5V、2.0A
バッテリー容量	2800mAh（静止画スライドショー連続再生で約 3 時間）
消費電力	最大 10W
サイズ	212.6 × 134.3 × 14.3 mm（幅×高さ×奥行き）
本体重量	約 380 g(AC アダプター含まず)
リモコン	有り
AC アダプター	ケーブル長 1.8m

※ 1：メモリリーダライタを利用する場合は、製品によって使用できるメモリカードが異なります。詳細はメモリリーダライタの取扱説明書を参照してください。

※ 2：専用の変換アダプターを利用して読み込むことができます。
（本製品に変換アダプターは付属していません。）

ご注意

USB ハブや USB ハブ機能付きメモリリーダライタ・USB メモリは使用できません。

■保証内容

1. 弊社が定める保証期間(本製品ご購入日から起算されます。)内に、適切な使用環境で発生した本製品の故障に限り、無償で本製品を修理または交換いたします。

■無償保証範囲

2. 以下の場合には、保証対象外となります。
 (1) 保証書および故障した本製品をご提出いただけない場合。
 (2) 保証書に販売店ならびに購入年月日の記載がない場合、またはご購入日が確認できる証明書(レシート・納品書など)をご提示いただけない場合。
 (3) 保証書に偽造・改変などが認められた場合。
 (4) 弊社および弊社が指定する機関以外の第三者ならびにお客様による改造、分解、修理により故障した場合。
 (5) 弊社が定める機器以外に接続、または組み込んで使用し、故障または破損した場合。
 (6) 通常一般家庭内で想定される使用環境の範囲を超える温度、湿度、振動等により故障した場合。
 (7) 本製品を購入いただいた後の輸送中に発生した衝撃、落下等により故障した場合。
 (8) 地震、火災、落雷、風水害、その他の天変地異、公害、異常電圧などの外的要因により故障した場合。
 (9) その他、無償修理または交換が認められない事由が発見された場合。

■修理

3. 修理のご依頼は、本保証書を本製品に添えて、お買い上げの販売店にお申し付けください。
4. 同機種での交換ができない場合は、保証対象製品と同等またはそれ以上の性能を有する他の製品と交換させていただく場合があります。
5. 有償、無償にかかわらず修理により交換された旧部品または旧製品等は返却いたしかねます。
6. 記憶メディア・ストレージ製品において、修理センターにて製品交換を実施した際にはデータの保全は行わず、全て初期化いたします。記憶メディア・ストレージ製品を修理に出す前には、お客様ご自身でデータのバックアップを取っていただきますようお願い致します。

■免責事項

7. 本製品の故障について、弊社に故意または重大な過失がある場合を除き、弊社の債務不履行および不法行為等の損害賠償責任は、本製品購入代金を上限とさせていただきます。
8. 本製品の故障に起因する派生的、付随的、間接的および精神的損害、逸失利益、ならびにデータ損害の補償等につきましては、弊社は一切責任を負いかねます。

■有効範囲

9. 保証書は、日本国内においてのみ有効です。
10. 保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

デジタルフォトフレーム　DPF-A8WM10 シリーズ
取扱説明書　2011 年 6 月 30 日 第 1 版

Trifun